

2024年10月28日
株式会社読売新聞グループ本社
株式会社西武ホールディングス

「Action!伝統文化」プロジェクト第4弾
人間国宝の作品が彩る舞台上、伝統文化に陶醉する夜をもう一度
2025年2月、特別公演「春爛漫プレミアム文楽」を開催
～昨年のご好評にお応えし、新たな演目で再び魅せる「三養荘」×「文楽」～

株式会社読売新聞グループ本社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：山口寿一、以下「読売新聞グループ本社」）と株式会社西武ホールディングス（本社：東京都豊島区、代表取締役会長兼CEO：後藤高志、以下「西武ホールディングス」）は、日本の伝統文化を振興するプロジェクト「Action!伝統文化」の第4弾イベントとして、2025年2月、静岡県・伊豆長岡温泉の旅館『三養荘』において、江戸時代から続く伝統芸能「人形浄瑠璃文楽」の世界を泊まりがけで堪能できるプレミアムイベントを開催いたします。

2024年2月、三養荘で初めて開催し好評を博した「春爛漫プレミアム文楽」では、人間国宝^{きりがね}作家の江里佐代子氏の作品『峰光』によって彩られた舞台上で、人形遣いの吉田勘彌氏をはじめ、太夫の豊竹呂勢太夫氏や三味線の鶴澤燕三氏ら総勢12名の出演者が『ひらかな盛衰記』より「神崎揚屋の段」を演じました。また、上演後には人形遣いや三味線の技芸員によるワークショップを実施し、「文楽の世界」をごゆっくりお楽しみいただきました。あれから一年、前回の出演者が三養荘に再集結し、新たな演目『^{いもせやまおんなていきん}妹背山女庭訓』より「金殿の段」を上演いたします。

歌舞伎や文楽、日本舞踊などを上演し日本の伝統芸能の拠点として親しまれた国立劇場（東京都千代田区）が、昨年10月より建て替えのため閉場している間も、本プロジェクトでは「文楽」などに触れていただく機会を提供し、伝統芸能を未来へ継承していくことに貢献してまいります。

さらに今後も、西武グループが国内外に有するホテルや鉄道などの豊富なハードアセットならびに国際会議や食催事などの運営ノウハウや創造的なソフトコンテンツと、読売新聞グループ本社が持つ伝統文化におけるネットワークや知見から生み出す独創的なソフトコンテンツとを組み合わせ、芸術や文化に触れる体験の提供に取り組んでまいります。



『妹背山女庭訓』舞台写真 ©小川知子

【「春爛漫プレミアム文楽～恋の糸をたどる歴史浪漫の旅～」概要】

2025年2月に、静岡県・伊豆長岡温泉の源氏山のふところに抱かれた由緒ある旅館『三養荘』において、江戸時代から続く伝統芸能「文楽」のプレミアムイベントを開催します。

上演する演目は、大化の改新を背景に、大和地方の伝説などを織り込んで作られた時代物の傑作『妹背山女庭訓』より「金殿の段」。美しいヒロイン・お三輪の身分違いの恋に焦がれる気持ちが、思わぬ形で蘇我入鹿を倒す大きな鍵となっていくという悲劇的な結末が見どころです。なお、伊豆にある伊豆山神社は、源頼朝と北条政子が結ばれた場所であることから、縁結びの神社としても有名です。この地の歴史に刻まれた頼朝と政子の恋物語にも思いをはせながら、劇場とは一味違う『妹背山女庭訓』の壮麗な世界をお楽しみください。また上演後には、料理長厳選の伊豆の旬の食材を使用した懐石料理とともに、出演者による「人形」や「三味線」の実演解説も予定しています。梅ほころぶ季節を迎えた壮大な日本庭園に囲まれる三養荘にて、唯一無二の体験となる文楽の世界をぜひ感じてみてはいかがでしょうか。

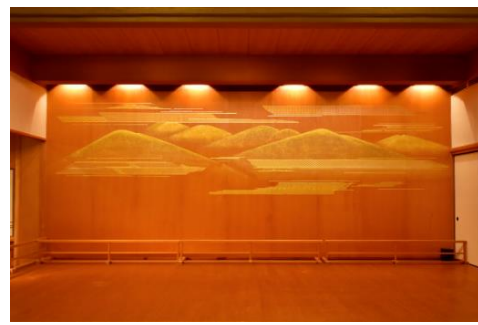
- ▼イベント名 伊豆長岡温泉 三養荘 特別公演
春爛漫プレミアム文楽～恋の糸をたどる歴史浪漫の旅～
- ▼日時 2025年2月2日（日）～3日（月）1泊2日
- ▼場所 伊豆長岡温泉 三養荘（静岡県伊豆の国市ままの上270）
- ▼参加申し込み 2024年11月21日（木）午前10時から 伊豆長岡温泉 三養荘 予約係
電話 055-947-1111（受付時間 10時～18時）※受付は電話のみ
イベント詳細や料金は西武プリンスホテルズ&リゾーツのサイトで
(<https://www.princehotels.co.jp/contents/bunraku/>)



人形遣い 吉田勘彌氏



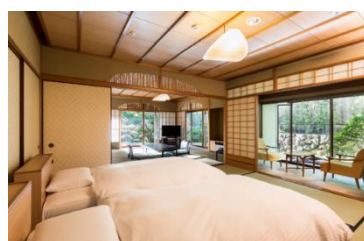
2024年2月「春爛漫プレミアム文楽」の様子



人間国宝で截金作家の江里佐代子氏の作品
『峰光』によって彩られた舞台

【三養荘について】

旧三菱財閥の創始者・岩崎彌太郎氏の長男・久彌氏の別邸として、壮大な日本庭園の中に建てられました。歴史と格式ある数寄屋造りの本館は、貴重な国民的財産として有形文化財に登録されています。四季の移ろいが美しい庭園は、およそ 3,000 坪。近代日本庭園の先駆者である京都の庭師・小川治兵衛氏の手によるものです。



(ご参考) 2024年10月開催「Action! 伝統文化」第3弾イベント

「Rethink Kogei」プレミアムトークセッション

2024年10月12日、『ザ・プリンスギャラリー 東京紀尾井町』にて、伝統文化の認知拡大や、参加者と伝統工芸に造詣が深い現代アーティストとの接点創出を目的とした、現代アートを楽しみ深く理解いただくプレミアムイベント「Rethink Kogei」を開催いたしました。レディー・ガガが愛用した「Heel-less Shoes」で知られる館鼻則孝氏と、館鼻氏と親交のある桑田卓郎氏、2名の現代アーティストによるトークセッションや作品展示に加え、作品をモチーフにしたスペシャルスイーツを通じ、歴史や文化を多分に感じる紀尾井町で伝統と現代が会おう唯一無二のひと時をお楽しみいただきました。



【伝統文化振興プロジェクト「Action! 伝統文化」とは】

この国で長く親しまれてきた能、狂言、歌舞伎、文楽など伝統芸能の芸術性や、漆芸、陶芸などの伝統工芸の技術と品質の高さは、日本人が誇りとし、守っていききたい貴重な遺産です。世界に類を見ないものとして海外から高く評価される一方、後継者不足や原材料の確保難が大きな課題になっています。

読売新聞グループ本社は、様々な企業、団体、自治体および個人にも呼びかけて「伝統文化」を守る機運を高める運動に取り組みたいと考え、2023年に伝統文化振興プロジェクト「Action! 伝統文化」をスタートしました。西武ホールディングスは、本プロジェクトの趣旨に賛同し、最初に協定を締結したパートナー企業で、共にプロジェクトを推進しています。

本プロジェクトでは、有形無形の『伝統文化』についての知識や教養、楽しみ方を知ってもらう機会や情報を提供し、需要を創出して、伝統文化を再評価する動きにつなげることを目指します。



「Action! 伝統文化」共通ロゴ

【西武ホールディングスが「Action! 伝統文化」プロジェクトに参画した狙いについて】

西武ホールディングスは、2022年4月1日より経営企画本部内に「スポーツ・アーツ&カルチャー事業戦略部」を設立しました。2024年5月9日に公表された「西武グループ長期戦略2035・中期経営計画(2024~2026年度)」の中では、「五感を揺さぶる体験創造」を重要テーマ(マテリアリティ)に設定し、当社施設をご利用されるお客さまのさらなる滞在価値向上に寄与すべく、お客さまの生活に豊かさや彩りを添え、コロナ禍で進んだ「個人のWell-Beingの実現」という高い付加価値を創出できるアーツ・カルチャー分野での展開強化を目指しています。

コロナ禍からの脱却が進み国際的な人の往来も活性化している今、人々を魅了する「自然、気候、文化、食」などが揃っている日本において、今後も「観光」は成長戦略の柱であり、全国各地に存在する日本の伝統文化を通じて、海外へその魅力を発信する重要性はますます高まっています。引き続き西武

グループが国内外に有するホテルや鉄道などの豊富なハードアセット、ならびに国際会議や食催事などの運営ノウハウや創造的なソフトコンテンツと、読売新聞グループ本社が持つ伝統文化におけるネットワークや知見から生み出す独創的なソフトコンテンツとを組み合わせ、芸術や文化に触れる体験の提供に取り組んでまいります。

以 上